



獨協医科大学病院だより
Dokkyo Medical University

秋号 No.65
令和8年(2026年)

Hospital News

診療科紹介

治療のゴールは、みんな同じ？ ～一人ひとりに価値ある整形外科医療を～

獨協医科大学病院 整形外科 診療部長 高畑 雅彦



「立つ」「歩く」「手を使う」。私たちが毎日当たり前のように行っている動作は、骨や関節、筋肉、神経などの「運動器」によって支えられています。整形外科は、運動器の病気やけがを治療し、患者さんがいつまでも自分らしく生活できるよう「動く」を支える診療科です。

獨協医科大学病院整形外科では、背骨や脊髄、関節の病気、骨折などの外傷、骨粗鬆症、手足の病気、スポーツによるけが、骨・軟部腫瘍、脊柱靱帯骨化症や大腿骨頭壊死症などの指定難病など、幅広い運動器疾患を診療しています。

私たちが特に大切にしているのが「患者中心の医療」です。科学的根拠に基づく医療(EBM)は医療の基本です。しかし、同じ病気でも、年齢や生活環境、仕事、健康状態、そして「治療によって何を取り戻したいか」は一人ひとり異なります。そこで私たちはEBMに加え、それぞれの患者さんにとっての価値を重視する医療(バリュー・ベースド・ケア)を大切にしています。例えば同じ膝の痛みの患者さんでも、手術をして「もう一度旅行に行きたい」「仕事を続けたい」という方もいれば、くすりや注射、リハビリで「日常生活を送れるくらいに痛みを抑えてもらえればよい」という方もいます。治療のゴールを患者さんと共有し、治療の選択肢を十分に話し合い、「患者さんにとって何が大切か」を一緒に考えて治療を選択します。これを共同意思決定(Shared Decision Making)といいます。

手術治療では、最先端の国内でも有数の高いレベルの治療を提供しています。当院には、脊椎手術用ロボットやナビゲーションシステム、患者さんの骨の形に合わせて作製する患者適合型三次元立体模型ガイド、人工関

節手術用ロボットなどの先端技術が導入されています。医師の専門的な知識・技術と先端テクノロジーを組み合わせ、より安全で正確な手術を目指しています。



「医学的に良い治療」であることはもちろん、「患者さんにとって良い治療」であること。科学的根拠、専門技術、先端テクノロジー、そして患者さんとの対話を大切にし、一人ひとりの「自分らしい生活」を支える整形外科医療を目指しています。

— 私たち大切にしている3つの考え方 —



CONTENTS

- ・診療科紹介(整形外科) ・部署紹介(診療記録管理部) ・宇都宮ブレックスによる病棟訪問
- ・きらめき文具店の来訪について ・病院へのお手紙に関するご回答

部署紹介

診療記録管理部

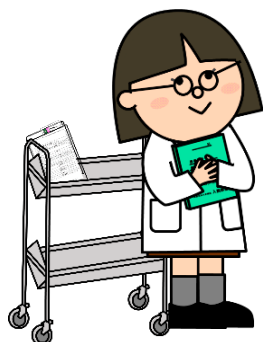
診療記録管理部 部長 入澤 篤志



診療記録管理部は、カルテ・フィルム係、スキャナ係、診療情報管理士など約31名で構成される部署です。外来・入院カルテ、X線フィルムなど、患者さんの診療に関わる記録をまとめて管理し、必要な際に円滑に提供できるよう日々業務に取り組んでいます。以前は紙カルテやフィルムを中心に管理していましたが、平成19年の電子カルテ導入以降は、紙と電子の両方を扱いながら、記録の整理や精度の維持に努め、医療現場の運用の一助となるよう取り組んでいます。

【カルテ・フィルム係】

外来・入院カルテやX線フィルムなど、診療に欠かせない記録を管理しています。診療や教育・研究などで必要な際にすぐ利用できるよう整理・保管を行い、返却された記録の確認や、保管期間を終えた記録の整理も適切に進めています。また、電子カルテでは入院に関するスキャナ取込み文書が適切に取り込まれているかの確認も行っています。



【スキャナ係】

紹介状や同意書、検査結果などの紙文書を電子カルテへ取り込み、電子データとして管理しています。スキャン後の確認や文書の整理など、細かな作業を丁寧に行うことで、医療現場が必要な情報をすぐに参照できる環境づくりに努めています。

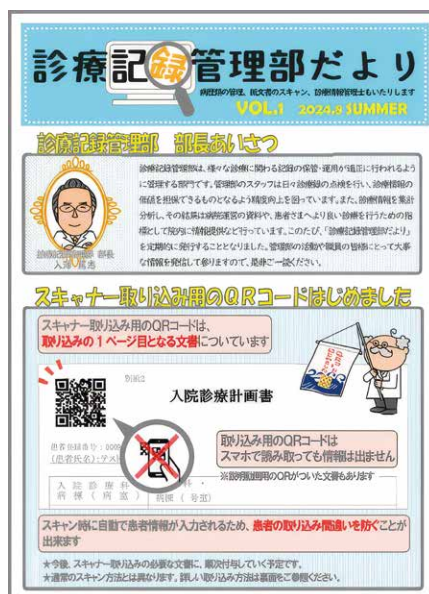


【診療情報管理士】

入院カルテの監査や内容を確認し、記録に不足や記載漏れがないかを点検しています。また、疾病統計の作成や、カルテ開示のための写しの準備にも携わっています。診療記録が分かりやすく活用しやすいものとなるよう整理しています。



当院は、地域医療の中核病院であるとともに、大学病院として、診療だけでなく教育や研究にも取り組んでいます。患者さんの診療記録は、患者さんにとって大切な情報であるとともに、病院にとっても守り続けるべき大切な財産です。これからもその一つひとつを丁寧に扱い、安心につながる記録管理を続けてまいります。



* 季刊で発行している「診療記録管理部だより」では、院内の診療記録に対する理解と意識向上を目的に、様々な情報を発信しています。

宇都宮ブルックスによる小児病棟訪問

大学病院庶務課

8月4日(火)、宇都宮ブルックスによる獨協医科大学病院小児病棟への訪問が実施され、#10竹内選手、チームマスコットの#028ブルッキーが入院中の子どもたちを励ます活動に来てくれました。

チームとしては昨年度に続き2年連続での来訪となりましたが、入院中の子どもたちは、ハイタッチと一緒にシュート体験をしたりすることで笑顔に包まれたひと時を過ごすことができました。



また、B.LEAGUE様より『B.Hope X YELL』(療養生活で日常が制限される子どもたちとバスケットボールを通じてつながり、共にエールを送り合い、勇気や希望を分かち合うことを目指す活動)コラボデザインのミニボール・ミニゴールを寄贈いただきました。

今シーズンのチームのご活躍を心より祈念しております。宇都宮ブルックスの皆さま、ありがとうございました。



きらめき文具店がやってきました

大学病院庶務課

8月24日(月)、NPO法人ピアスマイルによる「きらめき文具店」が当院を訪れ、小児病棟の子どもたちに楽しいひとときを届けてくださいました。きらめき文具店は、入院中の子どもたちがオリジナル通貨「ピア」を使って文房具を購入し、買い物体験を楽しめる移動式の文具店です。

当日は、人気キャラクターのメモ帳やシール、お菓子のパッケージそっくりな消しゴムなど、さまざまな文房具が店頭に並びました。子どもたちは目を輝かせながら商品を選び、「どれにしようかな」と楽しそうに

悩む姿や、お気に入りの品を手にして笑顔を見せる姿がみられ、会場は明るく温かな雰囲気になりました。

入院生活の中では、自分で商品を選び、買い物をする機会は限られています。きらめき文具店は、子どもたちに「選ぶ楽しさ」や「わくわくする時間」を届けるとともに、治療や療養を頑張るための力にもつながる素敵な取り組みとなりました。ご協力いただきましたNPO法人ピアスマイルの皆さまに、心より感謝申し上げます。



～病院へのお手紙に関するご回答～

全ての方々が親切でありがたく、入院生活の中で心がへこむ事がありますが頑張れます。獨協さんには初めて入院しましたが素晴らしい病院です。

(回答) この度は、初めての入院生活で心温まるお言葉を頂き、感謝申し上げます。今後とも患者さんに寄り添う看護が継続できるようスタッフ一同精進してまいります。

いつも優しく接していただきありがとうございます。おかげで父も退院できました。父だけでなく私にも寄り添っていただき感謝しかありません。本当にありがとうございました。

(回答) この度は、温かいお言葉を頂き、誠にありがとうございました。入院中は、ご本人だけでなく、ご家族にとってもご不安やご負担が大きかったと思います。私たちの関りが少しでもお力になったことを大変うれしく思います。今後も頂いたお言葉を励みに、より良い看護が提供できるようスタッフ一同励んで参ります。

医療費あと払いクレジットサービスのご案内

会計の待ち時間をゼロに!

待たずに
帰ろう!

登録&利用料 無料

診察が終わったら少しでも早く帰りたい…
医療費をあと払いにすることで、
会計を待たずにすぐにお帰りいただける
サービスです。

本サービスのご利用には事前登録(無料)が必要です。

診察前のご登録で、本日の会計からご利用いただけます。

登 録

下記ご利用登録サイトで、受診券番号やお手持ちのクレジットカード情報を登録するだけ。
(初回のみ)

通 院

会計待ちがないので、お身体への負担や、付き添う方の待ち時間も軽減。

支払い

かかった医療費は後日メールでお知らせ。
お支払いはクレジットカードで安心。

医療費あと払いクレジットサービス ご利用登録サイト

<https://s3.medicalpay.jp/dmuh/login/>

※ご登録から完了まで、安全のためご自身の接続環境に切り替え
てください(Wi-Fiオフ等)



看護師・薬剤師募集

当院では、看護師・薬剤師を募集しております。
採用試験等については、ホームページ採用情報の職員募集サイトをご覧ください。

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880 獨協医科大学病院 庶務課職員係

電話 0282-87-2038 (受付時間: 月～土 8:30～17:00) *休日除く E-mail shokuin-b@dokkyomed.ac.jp



当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。
<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

獨協医科大学病院

検索

